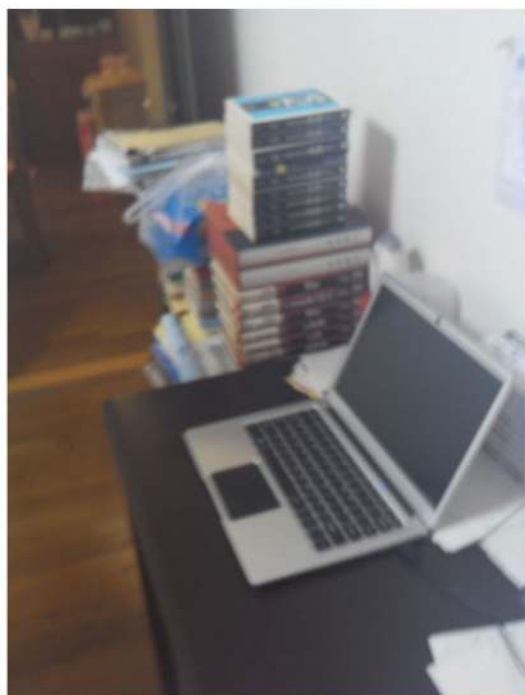


島根県精神当事者連絡会58号

去年の冬から部員が増えました。挨拶が遅れました。挨拶したいそうなので、このスペースを使います。

お宅を訪問しました。



初めまして、新しく編集部員になったDJです。私の趣味はPC、読書です。好きな本は諸子百家、史記、漫画です。好きな食べ物は魚、肉、麺類、コーヒー、甘いものです。基本的に何でも食べます。嫌いな食べ物はほとんどありません。好きな言葉は老子の柔弱は剛強に勝つ。最近ではコロナ禍でどうやって身を処すか考えています。コロナを機に浮かびあがりたいです。一度きりの人生を謳歌したいです。

コロナ禍における当事者の就労施設での就労状況についてのアンケート結果について

島根県精神当事者連絡会では昨年の秋口からコロナ禍における県下の精神当事者の作業所・就労施設等での労働状態を調査するアンケートを実施しました。全県下200近くの就労施設・作業所に各20部ずつアンケート用紙をおくり、返答があった当事者数は全部で688人でした。

アンケート全体の結果からは作業単価・作業量・工賃・職場環境・出勤日数など「変化なし」の回答が多く一見、大きな問題が発生しているようには見えない感じがしました。

しかし、細かく見ていくと、「コロナ禍による変化が凄くあった、変化があった」を合わせた割合が全体で40%にもなり、作業単価や作業量など悪化した指数が全体の20%近くにもなっている。工賃が減った割合も全体の15%、職場環境が悪くなった割合も10%近くになり、出勤日数も15%減っている。

困っていることについて当事者の具体的感想としては

- ・金銭面、病気が良くなるか・両親のこと・お金がありません、貧乏です
- ・今後の生活の不安・熱が出るのが怖い・マスクをずっとつけるとイライラする
- ・収入がない・大変かもしれないが注文が沢山入ってほしい・外出できないので辛い
- ・人との付き合いができない・感染への不安・家族との面会が制限されること
- ・移動支援で出かけられなくなった。・コロナに対して不安が大きくなった。
- ・不安になって過食になった・疲れやすくなった
- ・工賃のよいお土産の内職がコロナの環境への影響でほとんどない状態が続いた。他の内職も減産していた。継続的に仕事が流れる状態に早く戻って欲しい。工賃は生活費になるので。・検温や消毒が毎日面倒でストレスになる・工賃が下がり大変です。等（一部）

また、施設職員さんにおこなったアンケートの中には

- ・利用者の工賃・単価はモチベーションが下がらないように据え置いた。企業からの受注作業が減少、企業によってはまったく0のことも。・1日の作業を半日に短縮、短縮した時間に対し工賃を約70%給付費等から補填し影響を緩和した。・作業時間が減少・作業の短縮により、生活リズムが変わり、当事者の20%くらいの方が体調を崩された。・企業からの受託作業がなかなか戻らない。・感染症対策をどこまでしてよいか。など。

障がい者の作業所・就労施設での工賃はただでさえ安い。普段からの我々当事者の置かれている生活状況は決して豊かではないのです。コロナ禍で一番弱いところにしわ寄せがきて、打撃を受けています。職員さん達も必死で対策をこうじてくださっているが、やはり国や県などの行政からの支援がもっと必要なのではないでしょうか。

編集部へ投稿して
みませんか
採用されたらこの
会報にupされます。

編集部、699-0611
出雲市斐川町阿宮132
ほっしーの企画室まで

編集長 ほっしー
副編集長 ティー
編集部員 おかちゃん
編集部員 DJ

Fさんの絵です



編集初投稿です

（連載シリーズ、当事者の声）第2回

地域でくらしられても、やっぱり病院がいいと言われる方もすくなくありません。家族を頼りにしている人でも地域でも苦しい孤独を感じる方もいます。地域を安心して暮らせる住みやすい環境を整える事が必要です。病院の点数う稼ぎの為の地域以降であってはいけません。ページがなくなって来たので次号にもちこします。